

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : ウイルオフ 嘔吐物処理用凝固剤
 会社名 : 株式会社バイオット
 住所 : 東京都新宿区西五軒町6-10
 電話番号 : 03-3260-0494
 FAX番号 : 06-6447-6355

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分4
 急性毒性（経皮） : 区分外
 急性毒性（吸入） : 区分5
 皮膚腐食性・刺激性 : 区分2
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2 A-2 B
 生殖細胞変異原性 : 区分2

環境に対する有害性

水生環境有害性物質・急性 : 区分1
 水生環境有害性物質・慢性 : 区分1

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : 皮膚に接触すると有害のおそれ
 吸入すると有害のおそれ
 皮膚刺激・強い眼刺激
 水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策 : 使用前に取扱説明書入手すること。
 すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
 取り扱い後はよく手を洗うこと。
 保護手袋、保護衣、保護面、保護眼鏡を着用すること。
 環境への放出は避けること。

応急措置 : 皮膚または髪に付着した場合、直ちにすべての汚染された衣類を取り除き、多量の水と石鹸で洗うこと。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 吸入した場合、気分が悪い時は医師に連絡すること。
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。
 皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 流出物、漏出物を回収すること。

廃棄

内容物、容器は、国際、国、都道府県知事又は市町村の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別
化学名又は一般名

: 混合物
: アクリル酸重合体ナトリウム中和塩架橋物、無機鉱物
: 亜塩素酸ナトリウム、有機カルボン酸

成分及び含有量

成分	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
アクリル酸重合体 ナトリウム中和塩 架橋物	90<	(6)-901	9003-4-7
無機鉱物	<5	該当なし	該当なし
亜塩素酸ナトリウム	<4	(1)-238	7758-19-2
有機カルボン酸 (食品添加物)	<1	非公開	非公開

4. 応急措置

飲み込んだ場合

: 水で口の中を洗浄し、無理に吐かせず、速やかに医師の診断を受けること

吸入した場合

: 分解して発生した二酸化塩素ガスを吸入した場合、直ちに空気の新鮮な場所に移し、気分の悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

: 直ちに多量の水で洗い流すこと。
衣類に付着した場合、直ちに汚染された衣類を脱ぐこと。
異常がある場合は医師の診断を受けること。

目に入った場合

: 直ちに流水で15分以上洗い流し（コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し）、医師の診断を受けること。
眼球を傷つける可能性があるため、眼をこすったり固く閉じさせてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤

: 大量の水

使ってはならない消火剤

: 酸との接触により二酸化塩素ガス発生の可能性のあるため炭酸ガスや酸性の粉末消火剤は避ける。

火災時の特有な危険有害性

: 加熱により容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性または毒性のガスおよびヒュームが発生する恐れがある。

特有の消火方法

火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。
: 大量の水を使用するのが最も効果的である。
すみやかに容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合は、容器及び周辺に散水して冷却する。
風上から消火活動をする

消火を行う者の保護

: 保護具（ゴム手袋、ゴム長靴、防毒マスク、眼鏡等）を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置

: 密閉された場所に立入る前に換気する。
保護具（ゴム手袋、ゴム長靴、防毒マスク、眼鏡等）を着用する。

環境に対する注意事項

: 多量に漏れた場合は、河川等に直接排出されないように、回収、詰め替え、還元分解等の措置を講じる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 局所排気及び全体排気設備を設置する。
保護具（ゴム手袋、ゴム長靴、防毒マスク、眼鏡等）を着用する

安全取扱い注意事項	：皮膚、眼への接触を避ける。 取扱後はよく手や顔を洗い、うがいをする事。 使用前に取扱説明書を入手すること。 粉塵、ミストを吸入しないこと
保管	
適切な保管条件	：湿気が入らないよう密閉し、直射日光を避けて冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	：製品使用容器（防湿袋）に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置 管理濃度、許容濃度	：ミハトは設定値ではないが、説明に示す値の一般化値は、 ガスとしてTLV-TWA 0.1ppm、TLV-STEL 0.3ppmが許容濃度と規定 されている。
設備対策	：局所排気及び全体排気設備を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	：防毒マスクの着用（ハロゲンガス用）
手の保護具	：不浸透性保護手袋（ゴム製）を着用する。
眼の保護具	：安全ゴーグルもしくは顔面シールドを着用する。
皮膚及び身体の保護具	：不浸透性保護衣、ゴム長靴、ゴム前掛を着用する。

9. 物理的及び化学的性質	
外観	
物理的性質	：粉末、顆粒、塊状
色	：白色および淡黄色混合物
臭い	：無臭～弱い塩素臭
pH	：6.5-7.0（100倍希釈時）
嵩比重	：データなし
その他	：アクリル酸重合体ナトリウム中和塩架橋物は理論上自重の400倍 吸水する

10. 安定性及び反応性	
安定性	：常温常圧では安定。 長期間高温での保管や直射日光、紫外線で徐々に分解し、二酸化 塩素ガスを発生する。
危険有害反応可能性	：酸（反応して有害な二酸化塩素ガスを発生）
避けるべき条件	：熱、日光
混触危険物質	：強酸性物質
危険有害な分解生成物	：二酸化塩素ガス

11. 有害性情報	
※本製品の有害性データを有しないため、アクリル酸重合体ナトリウム中和塩架橋物、亜塩素 酸ナトリウムと有機カルボン酸のデータを用い、製品中濃度にて換算した計算値を以下に 記載する。	
急性毒性（経口）	：ラット LD50 1,539mg/kg（計算値）
急性毒性（経皮）	：ウサギ LD50 3,573mg/kg（計算値）
急性毒性（吸入：ミスト）	：ラット LD50 7,667mg/kg（計算値）
皮膚腐食性/刺激性	：弱い皮膚刺激性あり（ウサギ）
眼に対する重篤な損傷・ 刺激性	：強い刺激性があり、区分2A-2Bである。
生殖細胞変異原性	：亜塩素酸ナトリウム原体のマウスのin vivo小核試験における腹腔 内投与の結果は陽性（経口投与では陰性）のため区分2とした。

12. 環境影響情報	
※本製品の有害性データを有しないため、アクリル酸重合体ナトリウム中和塩架橋物、亜塩素	

酸ナトリウムと有機カルボン酸のデータを用い、製品中濃度にて換算した計算値を以下に記載する。

生態毒性

- 水生環境急性有害性 : 材ミジッコ EC50 (48h) ≒ 0.49mg/L [亜塩素酸ナトリウム含有量からの計算値]であり、1 mg/L以下であることより、区分1とした。
- 水生環境慢性有害性 : 急性毒性が区分1で、水中での挙動及び生物蓄積性が不明であるため、区分1とした。
- 生体蓄積性 : 情報なし
- 土壤中の移動度 : 情報なし

1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 水洗処理を施し、残渣と水洗排水に分け、残渣は産廃処理、水洗排水は亜硫酸ナトリウム等還元剤添加による二酸化塩素の分解処理、必要によって廃棄可能なpH範囲となる範囲(一般的には5~9)へのpHに調製、又は大量の水にて希釈し放流する。
- 汚染容器および包装 : 空の汚染容器を廃棄する場合、内容物を除去した後、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。

1 4. 輸送上の注意

本製品中の亜塩素酸ナトリウムは(国連番号：1496、国連分類：5.1、容器等級：Ⅱ)であるが、本製品中の亜塩素酸ナトリウム含有量は4%未満であるため、本製品は国内及び国際規制に該当しない。

輸送の特定の安全対策及び条件

- : 直射日光、水分、湿気を避け、容器の破損等のないように積載し、荷崩れ防止を確実に行うこと。
食糧や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。
酸、還元性物質との混載を避ける。

1 5. 適用法令

- 化学物質管理促進法 : 指定化学物質に該当しない。
- 労働安全衛生法 : 通知対象物に該当しない
- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
- 消防法 : 該当しない
- 船舶安全法 : 該当しない
- 航空法 : 該当しない
- 亜塩素酸ナトリウム／酸化性物質(危告示別表第1)を含有するも、国連勧告及びその別冊Manual of Tests and Criteria, 4th revised editionに記載されている試験方法及び判定基準に基づく試験結果より非該当。
- 亜塩素酸ナトリウム／酸化性物質(危告示別表第1)を含有するも、国連勧告及びその別冊Manual of Tests and Criteria, 4th revised editionに記載されている試験方法及び判定基準に基づく試験結果より非該当。

1 6. その他の情報

引用文献

- ・安全衛生情報センターHP (安衛法名称公表化学物質等)
- ・化学物質等安全データシート (MSDS) 第1部：内容及び項目の順序 (JIS Z7250:2005)
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE)
化学物質総合情報提供システム (CHRIP)
- ・日本化学会編 化学防災指針7 丸善 (1980)
- ・化学工業日報社編 化学品安全管理データブック (1988)

- ・原料メーカーMSDS(亜塩素酸ナトリウムは「職場の安全サイト：化学物質」参照)

記載内容の取扱いについて

本製品安全データシート（MSDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、MSDS中の注意事項は通常の手扱いを対象としたものです。

製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品をご使用ください。

また、当社は、MSDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。